

議会改革検討委員会 会議要録

- 開会 11時34分
- 1 開催日時 令和6年9月18日（水）
- 閉会 11時51分
- 2 開催場所 第一委員会室
- 3 出席した委員
- | | |
|-------|------|
| 加藤誠一 | 委員長 |
| 河井昭成 | 副委員長 |
| 重田剛 | 委員 |
| 本田秀樹 | 委員 |
| 谷口典隆 | 委員 |
| 野田武宏 | 委員 |
| 駒井千代 | 委員 |
| 河村浩史 | 委員 |
| 清水ひとみ | 委員 |
| 中山和行 | 委員 |
- 4 事務局職員
- 箕浦事務局長、保田次長
- 総務課 澤村参事、梅本総務係長
- 議事課 一丸課長、内田参事、森課長補佐
- 政策調査課 佐藤課長、川畑課長補佐、吉松主幹、辻主査
- 内藤主任主事
- 5 議題
- (1) 令和9年度以降の端末について
- (2) その他
- 6 配付した資料 別添のとおり
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

議事の経過概要

開会宣告 11時34分

1 令和9年度以降の端末について

◎加藤誠一委員長 令和9年度以降の端末の調達方法について前回の委員会の際に各会派にお持ち帰りいただき、御意見を聞くということになりました。各会派で協議いただいた結果はお手元に配付の資料のとおりです。端末の調達方法について会派の意見として整理しました。

資料を見ていただきますと貸与方式の方が多いですが、会派の中でもいろいろな御議論があったのではないかと思いますので、何か御意見があれば参考にお聞きをして協議させていただきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

◎重田剛委員 自由民主党滋賀県議会議員団は人数が多いので、いろいろな意見がありました。貸与方式でお願いしたいと思っております。また、タブレット端末のサイズについても当初は大きいサイズの方が見やすいということとこのサイズが流行っているということもあり、このサイズになりましたが、外へ持ち出すことも考えるともう一回り小さい方がいいという意見がありまして、自由民主党滋賀県議会議員団としては今の事務局サイズという意見です。

◎野田武宏委員 チームしが県議団は唯一BYOD方式です。そもそもペーパーレス化のためにタブレット端末として使用するのか、それとも今後のDXの推進を含めて検討していくのかといったことを考えると、先々を見据えキーボードを含め広い幅を持たせるという観点からBYOD方式がいいということで話がまとまりました。前回の委員会の最後で河井副委員長からありましたが、今後何を目的に利用していくのかということも併せて検討していくのが大事であるという話がありました。

◎駒井千代委員 さざなみ倶楽部でもいろいろと議論をしましたが、今お話があったように何をしていくのかということですので、まずスペック的に1台で議員としての仕事を完結させるのであればパソコンも利用できるBYOD方式がいいということになりました。ただ、貸与方式にするとそれぞれ使い方が違うと思っておりますのでタブレット端末でないと全体として統一していくのが難しいのではないかと、それぞれ別々の端末にすると事務局が資料を確認したりするのが難しいのではないかとといったいろいろな議論がありまして、貸与方式で最低限のスペック、小さいサイズで資料の閲覧とファイリングのしやすさを重視する使い方にしようということになりました。

◎加藤誠一委員長 他の会派はよろしいでしょうか。聞いておりますと、何に使うかという話と並行して御議論いただいているところが多いようですが、まずは必要な予算を確保しなければならないという前提がありますので、貸与方式がかなり多いの

で、私としてはまずは貸与方式を念頭に議論を進めていきたいと思います。ただ、今後の議論によっては結果として今後どうなるか分かりませんし変わる可能性もなきにしもあらずだと思いますが、そのことを頭に置きながらまずは貸与方式で議論を進めていきたいですが、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 ありがとうございます。そのような形で議論を進めさせていただきます。

次に端末の形態ですけれども、先ほどいろいろな御意見がありました。現在はタブレット端末であるということもありますし、活用方法にも関わってくると思いますので、まずはタブレット端末をベースに議論をしていくということにしたいと思います。これについては先ほども言いましたけれども、活用方法を議論する中でそれ以外の方式がいいのではないかという話になれば、それもそのときに検討していくということにしたいと思います。そのような形でこれから進めていいでしょうか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 ありがとうございます。それではタブレット端末を基本に考え、次回以降活用方法を議論いただく中で、それ以外の方がいいのではないかということになれば再度端末についても議論をするということにしたいと思います。

次に今後の検討の進め方について改めて確認させていただきます。現在想定している今後のスケジュールを事務局に配布させます。

(資料途中配付)

◎加藤誠一委員長 最終的には令和9年度から新しい端末を導入することになりますが、そうすると令和8年度中に入札手続をする必要があります。議員の任期が令和9年4月になりますのでその前年度にしっかりと運用できる形にしておきたいというスケジュールです。令和8年度に入札手続をしようとする、令和7年度には予算を確保しておく必要があります、来年の今頃には予算要求することになります。そうしますと、そのときには大方の方向性が決まっていなくて予算要求ができませんので、そのようなスケジュール感でいきたいと思います。

したがって、今年度中には、端末の調達方式、端末形態、そして使い方まで決めていくというスケジュール感でいきたいと思いますが、何か御質問や御意見はございますか。

(意見なし)

◎加藤誠一委員長 それでは今年度中に全ての方向性を決めていくというスケジ

ュール感でいきたいと思います。現在9月ですが、もう一つ他のテーマがありますので、10月から1月にかけて何回か委員会を開催しなければならないと思っています。

次に先ほど重田委員や駒井委員からもありましたけれども、端末のサイズやスペック、そして通信機能の関係、費用負担の在り方、こういうことも議論の対象になっていきます。活用方法につきましては次回から検討していきたいと思いますが、端末のサイズについては各会派に参考に御意見を聞きましたが、今の段階では事務局用のタブレット端末のサイズの希望が多いという形になっています。ただ、端末のサイズについては、この前河村委員から同期機能の話がありましたが、自分で見たいページを見ながら説明されている箇所も見ようとすると小さい画面でいいのかということも考えられます。結果として意見が多かった事務局用のタブレット端末のサイズを念頭に置きながら議論は進めていきますけれども、場合によってはサイズを変えるということも含めて、議論をしていきたいと思います。

このような進め方でいこうと思いますが、何か御要望があればお願いします。

◎野田武宏委員 ぜひキーボードの持込みについて今後どのようにしていくのか併せて議論していただければと思います。そこの自由度が増すと、必要な人は持ってきて必要ではない人は持っていないという形で運用できますし、キーボードをくっつけてタブレット端末を使えます。例えば、記者の方はキーボード付きのパソコンの持込みは認められていますし、執行部は委員会でキーボード付きのパソコンを使っています。そこの自由度が増すと議場も含めて、DXを進めていくということにも繋がるのではないかと思いますので、併せて議論していければと思います。よっぽどパンチ音がうるさいというのであれば、議長や委員長に止めてもらうというのも本会議や委員会の進め方としてはありだと思しますので、検討いただけると助かります。

◎加藤誠一委員長 確か昔は委員会において記者もパソコンを使えませんでした、どこかの段階で必要だということで許可されたという経緯もありますので、その状況を含めて、何をどのように活用するかというところがまずベースにあると思いますので、そういうことも含めて議論になろうかと思います。

他はいかがでしょうか。

(なし)

2 その他

◎加藤誠一委員長 今回は、前回各会派にお持ち帰りいただいたので、その結果と方向性を全体で決めるという委員会でした。本日の議題につきましては以上です。この際他に関連してよろしいですか。

(なし)

◎加藤誠一委員長 次回の委員会ですが、10月11日（金）、定例会の最終日の本会議

終了後ということをお願いしたいと思います。

なお、次回の委員会は今申し上げました端末の活用方法について御議論をいただきます。フリーに議論していただいてもいいですが、場合によってはいろいろな参考になる情報を事務局に事前にまとめてもらい、委員の皆さんに見てもらいたいと思います。

それと、もう一点の若者を議会への興味と関心を深めるための取組については、前回教育委員会や選挙管理委員会から状況を聞きましたけれども、これはあくまでも執行部側の考え方です。今回は我々議会としてどうするかという話ですので、このことについていろいろと御議論いただきたいと思います。

それから、議会運営委員会の県外調査で静岡県と群馬県に行きましたが、議会としての若者の議会への関心を高めるための取組ということも併せてお聞きをしてきましたので、できればそういうことも事前に委員の皆さんにお届けさせていただきます。この前、事前にお配りしました全国都道府県議会議長会の資料もありますので、皆様それぞれ検討いただきまして、滋賀県としてどのようにするか御議論いただくようにお願いしたいと思います。

閉会宣告 11時51分

県政記者傍聴：京都、中日、朝日

一般傍聴 ： 1 人